

## 2007 年度 小委員会活動成果報告

(2008 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	認知症ケア環境小委員会	主 査 名：森 一彦 就任年月：2007 年 04 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会	委員長名：布野修司 主 査 名：
設 置 期 間	2006 年 4 月 ~ 2008 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	1.認知症ケア環境に関する専門性の蓄積と認知症ケア環境理論の構築 2.認知症ケア分野と建築分野の架け橋となるケア環境づくりの実践的研究を牽引 3.研究活動の成果に基づくセミナーや図書の出版、ウェブサイトの開設	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有(2006年度新規3名)	
	森一彦(大阪市立大学) 赤木徹也(工学院大学) 石井敏(東北工業大学) 三浦研(大阪市立大学) 児玉桂子(日本社会事業大学) 古賀誉章(東京大学) 影山優子(日本社会事業大学) 隼田尚彦(北海道情報大学) 浜崎裕子(長崎国際大学) 鈴木義弘(大分大学) 絹川真理(岡山大学) 巖爽(宮城学院女子大学) 松浦正悟(大和ハウス工業) 山田あすか(立命館大学) 山下真知子(武庫川女子大学) 以上 15 名	
設置 WG (WG 名：目的)	1. 認知症ケア環境理論の構築 WG：認知症ケア環境に関する内外文献の収集と研究成果の整理、認知症ケア環境の理論化に向けた公開研究会開催 2. 認知症ケア環境づくり実践研究 WG：施設環境づくり手法に関する検討会、施設環境づくり介入研究を実施	
2007 年度予算	253,000 円	ホームページ公開の有無： 無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 見学会「グループホームはつね」(9/25) 参加者数：10名 2. 認知症ケア環境・公開研究会(11/30) 参加者数：20名 「高齢者ケア施設における多面的施設環境評価法の開発と適用」景山優子先生(西武文理大学・講師)資料名：高齢者ケア施設における多面的施設環境評価法の開発と適用レジメ 3. 認知症ケア環境事典検討ワークショップ(10/27) 参加者数 10 名 認知症ケア環境の課題を環境計画、ケアの専門家参加によるワークショップ形式による検討
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	なし

<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 認知症ケア環境事典の出版準備：出版（200810 予定）にむけた準備として、認知症ケアの専門家や家族など社会的普及を念頭にしながら、建築学会を中心に研究された認知症ケア環境研究の体系的整理と認知症ケア環境の理論化を進めた。</li> <li>2. 認知症ケア環境づくりの普及：認知症ケア分野と建築分野の架け橋となるケア環境づくりの実践的研究を継続的に進めると共に、日本認知症ケア学会と協賛して、施設環境づくり実践ハンドブック（part 4）を作成した。</li> </ol>
<p>委員会活動の問題点・課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 .新年度より移行する福祉施設計画小委員会における研究課題の整理とその研究進展のための研究体制の確立が求められる。</li> <li>2 .委員が全国を網羅している特徴を生かして、各地域に密着した福祉施設の事例収集とその研究展開を進める必要がある。</li> <li>3 .出版、委員会活動の内容を公開するHPを開設する必要がある。</li> </ol>

\* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。